

Dominique DESMOULINS 会長からご挨拶

親愛なる理事の皆様、会員の皆様、パートナーの皆様へ
皆様と皆様のお仲間やご家族にとりまして、2018年が喜び・幸せ・
美しい驚きと健康に満ちた至福の年になりますようお願い申し上げます。

FISUELを代表しまして、昨年10月の理事会（於フランス、パリ）
で採択された取り組みを通じて、世界の電力利用者の安全性向上普
及目標をぜひ達成したいと考えております。

2017年度のFISUELの主な活動実績は下記のとおりです。

- ・ パリ島（インドネシア）で非常に質の高い年次大会を実施
- ・ FISUEL理事会と各地域ワーキンググループ幹部の陣容を強化
- ・ 2017～2020年度の戦略の方針を決定

2018年度の優先活動課題は下記のとおりです。

- ・ 優良事例を互いに紹介し合いながら、アビジャン（コートジボワール）年次大会を質の高いものにする
- ・ 年次大会を補完する活動として、電気保安と経済の安定に貢献する具体的活動を年間を通じて推進する
- ・ 理事の皆様・リーダーの皆様に権限を委任してワーキンググループのアクションプランを実施する
- ・ 各会員の皆様の動的な参加（経済的・技術的・政治的参加の別を問いません）を得て、当連盟の持続可能性を確保し、さらなる卓越を目指して発展を促進する

上記の活動はいずれも、世界の電気保安の進歩発展に大いに貢献するものです。

FISUEL 会長 Dominique Desmoulin



Moonyeong Bak 氏がアジア太平洋ワーキンググループリーダーに就任

2017年10月開催のFISUEL理事会（於フランス）において、
James Kwangsu Kim氏の後任として、韓国電気安全公社
（KESCO）のMoonyeong Bak氏がアジア太平洋ワーキンググ
ループリーダーに選任されました。

これまで誠実に任務を遂行してこられたKim氏と同様に、
FISUEL会員の皆様と協力しながら任務に当たっていただきま
す。

KESCOはアセアン諸国とのプロジェクトを通じて、Mulianto
Gultom氏（インドネシアKONSUIL）とともに、アジア諸国の関連機関にFISUELの目標を紹介し
ていく予定です。

「電気保安は最も積極的な社会保障の一つであり、すべての人々がその恩恵に浴する権利がある」というのがBak氏の信念です。その実現に向けて全力を尽くしたいとBak氏は語っています。

アジア太平洋ワーキンググループリーダー Moonyeong Bak 氏



FISUEL ワーキンググループ ガイドライン — 2017年7月

1) 適用領域

住宅設備の領域を最優先し、次いで商工業設備とする。

2) アクションプラン

FISUELの2017～2020年度基本方針は以下の2点に要約される。

- 世界のすべての人々が電気を安全に利用できる社会づくり
- FISUELは電気保安の世界標準である
 - a. **ワーキンググループ（以下「WG」）の機能**
 - 各地域の責任者（ゾーンマネージャー）がWG責任者となる
 - 専門家団（FISUEL会員・非会員とも）への報告や連絡をWGが行う
 - 各年度の会議スケジュールを決定する。
 - b. **主な任務**
 - FISUELの戦略的方針及び地域の状況に基づいてアクションプランを策定する
 - アクションプランをゾーンマネージャーが承認し、FISUEL事務局に提出する
 - 理事会への報告・連絡
 - c. **活動の枠組み**
 - 各種の電気関係事業者が電気保安に果たす役割を明確にする（標準化機関、設備工事業者、建設業者、制御業者、電力会社等）
 - 電気設備関連規則全般の国別状況を把握する
 - 電気技術者職に就くための条件
 - 事業法人に必要な資格や技術
 - 適用される規制や規格
 - 新規設備と既存設備に対する点検方法や制御システムの違い
 - 以下の領域で参考になる行動の例、優良事例、地域内コミュニケーションの例を収集する
 - 新規／既存電気設備の安全性
 - 不正対策（不適合品、危険製品、偽造品）
 - 設備工事業者の技術と資格
 - 統計（電気設備、電気事故、電気に起因する火災）
 - スラム地区の電力利用状況改善に向けてFISUELができること（どのような付加価値を提供できるか）
 - 電気設備の付帯設備・関連設備にも電気保安の概念を適用する
 - 太陽光発電システム
 - 電気自動車の電源
 - エネルギー貯蔵設備
 - 雷サージ保護設備
 - 追跡可能性（トレーサビリティ）他
 - FISUEL会員に期待することを明文化して説明する
 - 年次大会の枠内で行うシンポジウムの題材を提供する

3) 広報・情報伝達（コミュニケーション）と指示

- WGが作成するすべての文書でFISUELのデザインを共有する
- FISUELウェブサイトと「電気保安バロメーター」ウェブサイト（住宅及び商工業設備の電気保安に影響する要素を評価するサイト）に情報を提供する
- FISUEL広報サポート（会員募集）資料を作成する
- FISUEL会員間情報伝達の取りまとめや調整を行う
- FISUELニュースレターの記事を収集・作成する

4) 新規会員

- FISUEL非会員の専門家もワーキンググループに参加させる
- 見込会員（新規加盟の可能性がありそうな団体）とコンタクトを取る
- 見込会員の連絡先一覧を作成し、ニュースレターを送付する

記事提供：FISUEL事務局 Patrick Aubelis氏

欧州・中近東ワーキンググループ

1) 地域組織の概要と任務

リーダー：Marc Maslowski氏、アニメーター：Benoît Dôme氏
EU地域を拡大し、レバノンとサウジアラビアも含めています。

2) 2018年度の実施事項

現在未承認の段階です。オンライン会議（Webex）1回、面談会議2回実施後正式決定の予定です。そのうち1回は5月の年次大会（アビジャン）で行います。

3) 2018～2020年度アクションプランと活動

FISUELガイドラインに従って、当WGは以下の項目を掲げています。

- 「世界電気保安バロメーター」ウェブサイト（住宅・非住宅とも対象）
- 統計の共通基盤（火災、電気事故等）
- 偽造・不適合電気製品対策 — 市場調査
- 欧州・中近東WG内及び他地域WG（アジア太平洋、アフリカ）への情報発信
- FEEDS（欧州電気保安フォーラム）
- 電気自動車
- 再生可能電気エネルギー
- エネルギー貯蔵
- エネルギー貧困
- AFCI（アーク放電遮断器）

4) その他の課題

- FISUELウェブサイトの活性化と更新
- FISUELウェブサイト用の画像・動画データベースの作成
- FISUEL内外のコミュニケーションの取りまとめ・調整

5) ワーキンググループ専門家団



記事提供：Benoit Dôme 氏、Marc Maslowski 氏

アジア太平洋ワーキンググループ

1) 地域組織の概要と任務

リーダー：Moonyeong Bak氏、補佐：Mulianto Gultom氏
アジア太平洋地域を担当します。

2) 2018年度の実施事項

2018年度年次大会（コートジボワール、アビジャン）時に2018年度WG会議を開催し、実施事項を決定します。

3) 2018～2020年度アクションプランと活動

a) アジア太平洋地域の国々にFISUELの活動を奨励する

- 目的：WG内の協力促進と新規会員勧誘案の検討
- アジア太平洋WGに所属するFISUEL会員一覧（正会員・パートナー会員）：
ALPERKLINAS（インドネシア）
COTSUEL（ニューカレドニア）
EC（マレーシア）
FESIA（日本）
KESCO（韓国）
KONSUIL（インドネシア）
- アジア太平洋WG招待会員：
EMA（シンガポール）

b) 活動計画

- 第1四半期：・アフリカWGと韓国KESCOの共同ワークショップ
・ベトナムの大臣クラスと会談しFISUELを売り込む
- 第2四半期：・FISUEL年次大会（コートジボワール）でシンポジウムに参加
・年次大会会期中にWG会議を会議。「電気設備点検調査の安全性確保」をテーマにWGメンバー間で情報交換を行う
・FESIA（日本）と韓国KESCO間で情報交換を行う
- 第3四半期：・モンゴル政府にFISUELを売り込む
・FESIAの調査を強化し、WG各メンバーに送付する
- 第4四半期：・シンガポールでのASEAN会議に参加する

4) ワーキンググループ専門家団



記事提供：Moonyeong Bak 氏

カメルーン – 電力：Eneo 社とカメルーン税関が共同で 電気設備の保安強化を推進

2017年10月5日（木）、FONGOD Edwin NUVAGA氏（カメルーン税関長）とJoël NANA KONTCHOU氏（カメルーンEneo社長）が協力協定書に署名しました。

粗悪な電気設備に起因する事故が一般家庭で多発しています。例えば、新品の延長コードやプラグなのに、壁のコンセントに差し込んだら突然破裂した、あるいは火花が出た、といった事故が起きています。建築時に敷設した電線が粗悪な品質だったため、短絡（ショート）を起こしたのかもしれないし、無法者が送電線を切りとり、鉄塔にいたずらするなどの迷惑な破壊行為をしたのが原因かもしれません。

いずれも現実には起きた事例です。Eneo社とカメルーン税関は、こうした電気事故の長期的根絶を目指す協力協定を締結しました。

この協定は、カメルーン税関が推進する密輸対策・不正対策の強化策の一環として締結されました。

目的は、電気機器の物流の取締りを通じて電気利用の質の向上に貢献することです。密輸品等の粗悪な電気機器が持ち込まれると、人や財産の安全に重大なリスクをもたらすおそれがあるからです。これに加えて、密輸等による不正な関税逃れを防止し、国の関税収入を確保することも狙いの一つです。

この協定は双方にとって有益な内容になっています。カメルーン税関は川上と川下の両方で取締りの有効性を強化したいと考えており、これに沿って両者は互いの助けになる情報交換を行っていく予定です。例えば、税関側からは輸入品のトレーサビリティ情報を提供します。これにより、Eneoにとっては送配電網で当該品の使用を開始する前の時点まで遡っての管理が可能になります。Eneo側からは送配電網からの物品盗難情報等を提供します。税関にとっては、この情報は盗品の取締りや盗品輸出の防止に役立ちます。

この協定では、Eneoの事業活動を支援する仕組みを2つ導入する予定です。**私設保税倉庫と直接搬出制度**です。

私設保税倉庫には、Eneo社が繰り返し輸入する資材（電線、計器類、配電変圧器、ブレーカー等）を保管します。普段は通関せずにこの倉庫に保管しておき、実際に使用する場合にのみ出庫して通関すれば良いので、Eneo社にとって柔軟な資材調達が可能になります。税関長Edwin NUVAGA氏は「これによって在庫管理の有効性が高まり、修理の所要時間も短縮するはずです」と語っています。

一方、**直接搬出制度**は、緊急性の高いプロジェクトを対象とする制度です。

「この制度は、緊急で重要な業務と認められる場合に限り、かつ信頼できる会社に限り、特例として通関手続きを減免する制度です。ただし通関料は減免されません。

この制度はプロジェクトの所要時間節約につながるはずです」と税関長は語っています。

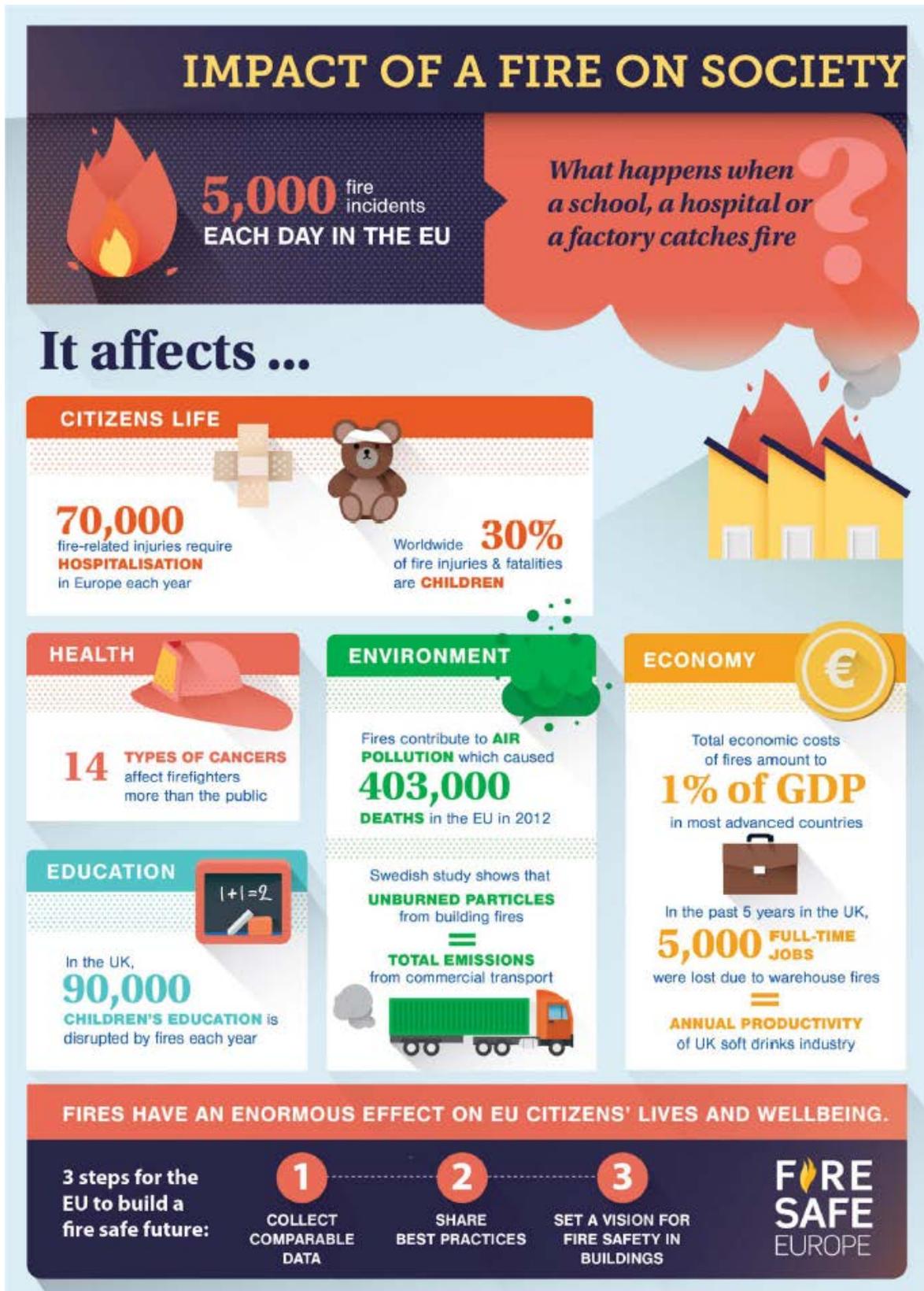
記事提供：Iris Bitjoka 氏（Benoit Dôme 氏経由で受領）



統計記事紹介

火災と電気事故に関する統計記事の例を2点ご紹介します。

- **Fire Safe Europe** (欧州防火協会) : <https://firesafeeurope.eu/>



- **ONSE France** (フランス国立電気保安監視委員会) : www.onse.fr/



ACT NOW

- By taking part in our workshops.
- By contributing to the functioning of the structure
- By sharing data with the Observatory
- By attending the next restitution of data



To contact us: contact@onse.fr



FRENCH NATIONAL OBSERVATORY OF ELECTRICAL SAFETY



For 20 years, Promotelec Association and Consuel gathered committed actors to share data in order to analyze and improve the electrical safety

Nowadays, many electrical damages
are still due to electrical source



DWELLING FIRES/YEAR	ELECTRICAL ACCIDENTS/YEAR
<p>200,000 dwelling fires responsible for 300 fatalities and 15,600 injuries among them</p> <p>82,000 fires with singular observations.</p> <p>50,000 fires due to electrical source: <ul style="list-style-type: none"> • 61% related to electrical equipment • 36% related to fire or mobile installations • 3% related to installations in common parts or to energy distribution </p>	<p>3,000 people electrocution casualties 40 people electrocution casualties</p>
ELECTRICAL DAMAGES/YEAR	ELECTRICAL DAMAGES/YEAR
<p>400,000</p> <p>Due to: <ul style="list-style-type: none"> • lightning, over-voltage, terrorist, ... • heating, • failure of a component, • electric default. </p>	<p>400,000</p>

ECONOMICAL CONSEQUENCES/YEAR

For dwelling fires, estimated to **4,2 billion €** of which **1 billion €** for fires due to electrical source

For electrical damages and accidents estimated close to **1,6 billion €**

All data result of ONSE, and some of them are based on an average over 5 years.

KEY DATA

METROPOLITAN FRANCE IN 2018

35 million dwellings among which
29 million over 15 years

DWELLINGS with electrical installations over 10 years:

2/3 of the electrical installations do not comply with at least 1 of a mandatory safety point:

- 80% with a defective earth connection
- 60% with a bad equipotential connection and a safety zone on the bathroom not respected
- 60% present risks of direct contact with live elements
- 50% not absolute DWDES

COMMON PARTS: electrical installations:

• 75% present hazards of direct contacts with live elements
 • 50% present hazards of indirect contacts with live elements

In 41 years, the number of electrocutions/year was divided by 5, going from 200 to 40

Thanks to the evolution of the regulations:

- Decreases on the protection of the workers in 1962
- The NF C 15-100 standard and the earth connection in 1969
- The electrical switchboard in 1980
- The 30mA earth leakage device in 1991
- The mandatory electrical diagnosis (DED) for over 15 years dwelling sale in 2009
- The DED for dwelling rental from 2017

Direct correlation between regulation and decrease of the accidents

Sources: NF 15000, NF C 15-100, 2008

記事提供 : Patrick Aubelis 氏、 Benoit Dôme 氏



世界電気保安バロメーター (World Electrical Safety Barometer)

世界電気保安バロメーター(<http://www.safetybarometer.org/>)

住宅設備の電気保安には様々な人たちが関係しています。消防署、保険会社、電力業界（発電会社、配電会社、設備工事業者、点検調査業者、電線・設備製造業者）、標準化機関、教育訓練機関、その他多くの事業者に加えて、電気利用者自身（家主や入居者）ももちろん関係者です。

これらすべての関係者に効果的な保安対策を講じていただく一助とするため、FISUELウェブサイト(<http://www.fisuel.org/>)で「世界電気保安バロメーター」を公開し、その維持発展に努めています。

バロメーターでは、専門家グループが電気保安に関する主要評価項目を定め、項目間に比重を設けて総合評価を行っています。評価項目は以下の13項目です。(1) 規格や規則の整備状況、(2) 新規点検調査の内容、(3) 定期点検調査の内容、(4) 点検調査報告、(5) 既存設備点検調査の仕組み、(6) 点検調査業者の適格性、(7) 設備工事業者の適格性、(8) 発電・配電会社の役割、(9) 消費者教育、(10) 新規点検調査の基準・規格、(11) 製品製造、(12) 製造業者の役割、(13) 市場調査。

新規参加国の方は（参加後更新の場合も同様です）、サイトにログインし、質問項目にお答えいただくだけで評価を受けることができます（できればURLもご記入下さい。送信前にご回答内容を印刷して控を取っておくことをお勧めします）。送信いただいたご回答をFISUELが受領・保管し、



上記の評価基準に従って総合得点 (%) を算出します。ご回答下さった方は、評価結果をもとに自国の電気保安の状況を評価し、不十分な領域を特定し、状況改善の参考にすることができます。さらに、FISUELのネットワークを活用して、対策導入済の国々と速やかに連絡を取り、基本方針・予算等に関する説明や、導入過程で生じ得る困難等に関する助言を受けることもできます。

FISUELは、今年度の取り組み事項として、各地域ワーキング

グループ（加盟国及びその他の関係諸国を含む）、消防機関（欧州FIRE、ESFA）、保険業界（欧州保険連盟災害予防フォーラム）、設備工事業界（AIE Europe）の幹部と連携しながら、このツールの更新と発展に注力していく予定です。

技術委員会第64分科会「電気設備と感電死予防」のメンバーが担当部門となって、具体的な推進運動を実施する予定です。

記事提供 : Benoit Dôme 氏

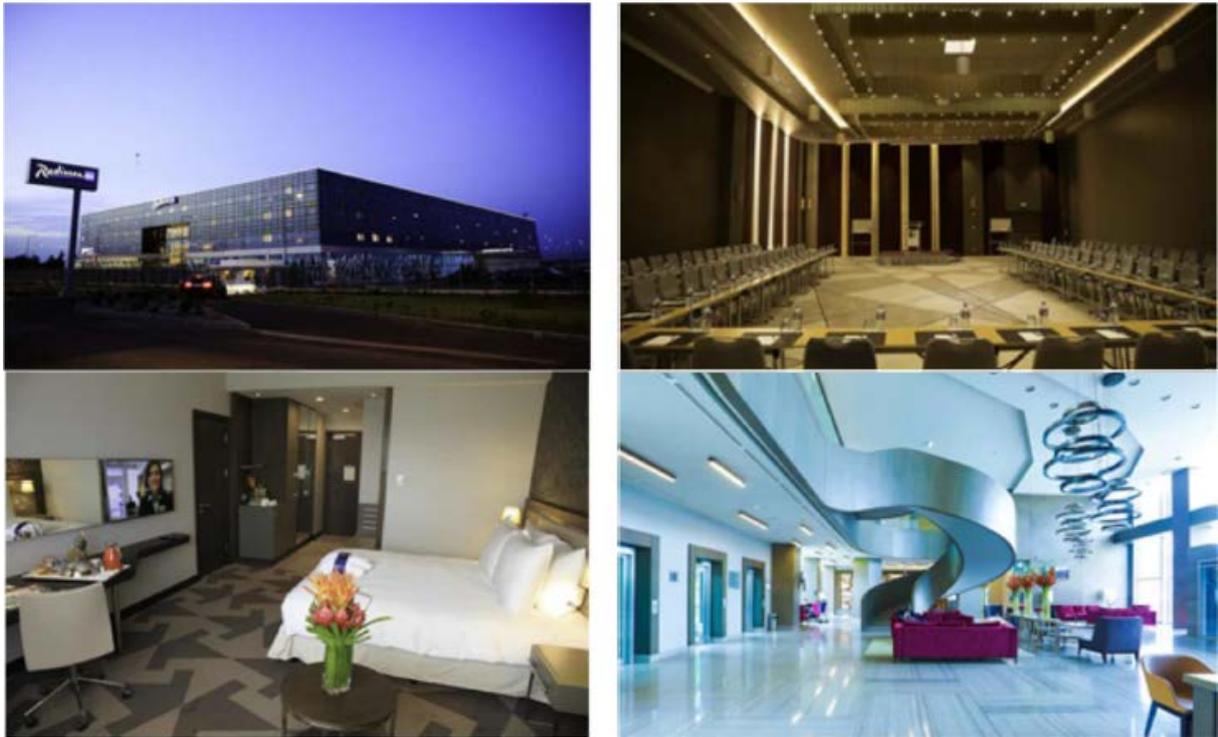


2018 年度 FISUEL 年次大会をコートジボワールの
アビジャンで開催します
主催：LBTP Securel（コートジボワール建設・公共工事研究所）



2018 年度年次大会テーマ
「新エネルギーへの移行：利用者の安全に向けた状況・利害関係・展望」

会期：2018 年 4 月 30 日～5 月 4 日 **会場**：RADISSON BLU ABIDJAN ホテル（所在地：Route de l'aéroport - Aéroport Port-Bouet - BP 2176 Abidjan 03 - Abidjan - Côte d'Ivoire 電話：(+225) 21 22 20 00 ウェブサイト：www.radissonblu.com



プログラム： 皆様のご予定に下記日程を入れておいて下さい

初日：4 月 30 日（月）／理事会会議と開会式		
09:00 – 10:00	理事会	
14:00 – 15:30	開会式 ゲストの受付と着席 ポール=ブエ市長による歓迎の辞 LBTP 所長挨拶 FISUEL 会長挨拶 エネルギー省大臣挨拶 経済インフラ省大臣挨拶 総理大臣による開会の辞	
15:30 – 16:00	展示ブース見学	
16:00 – 16:15	休憩	
16:15 – 18:15	FISUEL 総会	
2 日目：5 月 1 日（木）／ワーキンググループ会議		
9:00 – 11:00	ワーキンググループ会議	アフリカ、欧州・中近東、アジア太平洋 各ワーキンググループ
3 日目：5 月 2 日（水）／シンポジウム		
08:00 – 10:00	シンポジウム	
10:00 – 10:15	休憩	

10:15 – 12:15	シンポジウム
12:15 – 13:15	昼食
14:00 – 16:00	シンポジウム
16:00 – 16:30	休憩
16:30 – 17:30	総括と質疑応答
4日目：5月3日（木） / シンポジウムと親善晩餐会	
08:00 – 10:00	シンポジウム
10:00 – 10:15	休憩
10:15 – 12:15	シンポジウム
12:15 – 13:15	昼食
14:00 – 15:00	総括と質疑応答
15:00 – 16:00	作業報告
16:00 – 17:00	閉会式
20:00	ガラディナー
5日目：5月4日（金） / ディヴォ市にて技術視察と観光	
7:00	ディヴォへ出発
10:00 – 10:30	歓迎式典
10:30 – 12:30	理事等就任式
12:30 – 13:30	昼食
15:00	アビジャンへ出発

スポンサー・講演者募集： 上記議題（テーマ）にご賛同いただけるスポンサーの方、又は上記議題に関連する講演をしていただける方は、Mamadou Sylla (msylla@lbtp.org) 及びPatrick Aubelis (patrick.aubelis@fisuel.org) までお知らせ下さい。

参加申込： 参加登録・申込用書類一式を現在作成中です。

記事提供：Mamadou Sylla 氏（コートジボワール LBTP Secure!）



ニュースレター掲載記事募集

FISUELニュースレター読者に紹介したい事例や話題等がございましたら、記事に写真を添えて、fisuel@fisuel.com まで電子メールでお送り下さい。

2018年度FISUEL会員名簿

FISUEL正会員・賛助会員各団体の皆様あてに、2018年度会員名簿作成用の現状確認のお願いを送らせていただきました。

まだご返送下されていない会員の方は、内容をご確認いただき、必要事項をご記入の上、Annie Besançon (fisuel@fisuel.org) までできるだけ早くご返送下さいますようお願い申し上げます。

2018年度FISUEL年次大会日程

アフリカ、アジア太平洋、欧州ワーキンググループ会議（現在調整中）

2018年度年次大会：2018年4月30日～5月4日 コートジボワール、アビジャンにて開催

本ニュースレターはウェブサイトでもご覧いただけます (www.fisuel.org)。

FISUEL連絡先窓口のご案内：

- FISUEL宛て郵便物送付先住所：Fisuel chez Promotelec, Tour Chantecoq, 5 rue Chantecoq, 92808 Puteaux Cedex, France
- 電子メールアドレス：fisuel@fisuel.org（担当：Mrs. Annie Besançon）
- 電話番号：+ 33 (0) 9 52 19 68 75
- 本部所在地：21 rue Ampère, Paris, 75017, France

